

第3回定例会

3名の議員が理事者の考えを質しました。

・一般質問

一 般 質 問



但木早苗議員

奨学金制度について

【質問】

高校、大学や専門学校への進学が多くなる中、そのときに借りた奨学金の返済に苦しんでいる若者が急増している

と

う社会現象がおきています。町も奨学金制度により子どもたちの進学に力を貸しているところですが、なかなか回復しない経済状況や非正規雇用が増えていることを考えると制度の見直しが必要と考え

ま

す。そこで、

現在年間10人程度として

い

る対象人数について

貸付金額が現在月額高校生等1万円、大学生等2万2千

円

奨学金制度の見直しが必要ではないのか！

教育長へ金額、期間等は、返済時を考慮して当面現行どおりとしたい。

て当面現行どおりとしたい。

となっている金額について

現在据え置き1年その後6年間で返済となっているこの期間について

新たに入学準備金の設置について

【答弁】（教育長）

については、過去5年間

をさかのぼっても10名以上の申し込みの年度はなく、また

そのような状況が出ても十分

対応はできると判断しており、10名の一定基準は当分続

けたいと考えております。

については、返す時の負担

を考えると安易に増額することにはならないし、増額を

望む声もなく、しばらくは現

行の金額を続け、見直す必要はないと判断しているところ

です。

については、しばらくはこの期限で実施していきたい

と考えております。

については、需要がはっきりしない状況で制度だけ先

【質問】

5年間取り組む考えを示しているこの事業は1年2千万

円の税金が使われていますが、いろいろな工夫があってもいいのではないかと

言っていました。この間どんな話し

が行われてきましたか。

また事業の点検・評価、問題は何かを検証する必要がある

と考えます。更にこの事業が本当に根本的などころでの活

性化につながると考えている

のか

でしょうか。

合併が破綻したとき様々な

ことが見直され、お年寄りの楽しみだった風呂さえ有料に

しました。それでいてここに

2万円を使う。

町長は不公平感はないと考

えているのか、5年間同じよ

うにこの事業を続けていくの

か

お伺いします。

【答弁】（町長）

商品券販売時にアンケートを実施し、その結果を踏まえ

え商工会会員と協議している

ところでです。

月別、業種別の販売状況は商

工会で点検、検証していま

すので今後ともこの方式を取

取っていただきたいと考えて

おります。

また、商品券については私の

大きなこだわりです。券の

発行を10月からのふれあいパ

ス等の運行で相乗効果をあげ

ながら商店街の活性化、消費

拡大につなげていきたいと考

えております。

第3回定例会

・一般質問



高瀬 トシエ 議員

佐呂間市街地区の排水対策について

【質問】

環境衛生面での施策が進む一方、市街地の一部地域に数年前から悪臭の発生があり、猛暑の続いた本年は特に状況が悪化、近隣では窓やドアの開放ができず体調不良やストレスに悩まされたと聞いております。多くの住民が「においは道路側溝や排水溝のところから」と感じており市街地の排水状況について説明をお願いします。

悪臭は郵便局周辺からAコープ付近まで流れ、商店街では、お店においがこもる、商品へのおい移りが心配、シンデレラの時には、ダンボールで排水溝をふさぐなど苦慮されておりますが、原因

佐呂間市街地区の

悪臭対策はないものか！

町長、道や支庁の指導を仰ぎ、改善を

求めるよう対応を図っていききたい。

究明調査の実施、対処療法的消臭対策の検討、排水溝の毎年清掃の実施の有無につき伺います。

地元産業には特有の悪臭があり、特定の個人や産業を問題視するものではありませんが、不快感が長期に及ぶと住民にとって深刻でありま

す。今後に向けた対策をお示し下さい。

【答弁】（町長）

佐呂間市街の下水道は平成10年に供用開始し、接続可能戸数1384戸のうち962戸が接続し、接続可能人数2484名に対し1823名の接続で、接続率は73%となっております。未接続の生活雑排水（雨水含む）の排水経路は3ルートあります。

その一つ、町道29号道路下の高橋土建さん側の未設置者は町道の側溝から排水路を経由して道々富武士佐呂間線のものを含め道々留辺蘂浜佐呂間線の側溝に排水されております。

問題の排水溝は本町の管理下にはないのですが、平成6年に同様の悪臭発生があり遠軽保健所や支庁宛に匿名の苦情が寄せられ現地調査や作業指導が3年継続実施された経過があります。今回の内容が当時と全く同様なことから、ここが要因かと思われま

す。悪臭の発生原因者が自ら問題解決に対応すべく保健所などを通じ住民の意向を伝え対処する考えであり、今後にお

地域医療充実に向けた取り組みについて

【質問】

高齢化率33%に備える病院の役割、地元福祉施設との連携、医療の充実等々、地元厚生病院の存続は町民の強い願

であります。

一方、医師の確保が解決されぬままでの病院建て替えには不安も残ります。勤務医の2人体制が構築されなくても病院の建設に着手されるのか伺います。

【答弁】（町長）

これまで医師の確保には全力で努力してきたところであり、残念な状況もありましたが、更に様々な医療関係者や知人を介し医師探しに奔走しているところです。

本年度の損失額は2億円近くが見込まれますが、何とかも病院を存続したい。

佐呂間厚生病院は、旧館は昭和45年の建設で、一部改築をしながら今日に至ります。が、ボイラー設備や配管の腐食、病室の共用スペースの狭さ、耐震基準への課題、更に医師などの労働環境への対応も含め建て替えに向けて厚生連への働きかけを強化して参

第3回定例会

・一般質問



三田 真美 議員

佐呂間町の

観光について

【質問】

歳入を増やす手立ての一つとして産業の振興も大切ですが、「森と湖のまち」を前面に打ち出し観光に力を入れていくために、物産館「みのり」を核とした観光ルートの整備が可欠と考えます。

第一次産業と商工観光を連携させた体験型（農業体験・漁業体験）や滞在型の観光プログラムなどの計画をし、具体案としては「みのり」には近年ドライブに犬連れが多いことから「ドッグラン」などの設置、幌岩山への登山道を整備し登山ブームを考慮して新しい旅行者獲得の模索など、また「キムアネツプキャンプ場」をオートキャンプ場にするなど検討

佐呂間町の新たな観光整備は！

町長「悠林館」や「みのり」を

拠点とした整備を検討していく。

が 必 要 だ と思 います。

佐呂間町のホームページを観光客が見ることもありますが、掲示板に不愉快な書き込みを時々見ます。どのようにチェックしているのか

【答弁】（町長）

観光PRについては、パンフレットや観光物産協会のホームページで情報を発信するとともに、東京や札幌など都市部での観光イベントに参加しています。

また1市2町で組織するサロマ湖観光物産協議会では、外国語版のパンフレットを作成し、海外からの観光客の獲得に向け様々な努力をしています。サロマ湖展望台への町道の支障木の伐採を行い「みのり」

の外装工事も順次実施していきます。

ルートインも冬季休業しており、不安な面もありますが「悠林館」や「みのり」などを拠点とした観光ルートの整備を第4期総合計画にも明記してあることから検討していきます。

【答弁】（町民課長）

佐呂間町の掲示板について

公共施設の看板について

【質問】

親切な「まちづくり」のためには、町の公共施設の看板が少なく、小、中、高校や役場、スターなどへの案内はあります。どのように考えていますか？

【答弁】（町長）

スポーツの振興について

【質問】

佐呂間小、中学校出身で甲子園初出場の旭川実業高校の3名は「夢と希望」を佐呂間町民に与えてくれました。

今回の活躍は、表彰に値すると思いますが、考えを伺います。

【答弁】（教育長）

佐呂間町のスポーツ表彰については、佐呂間町に在住し、佐呂間町のスポーツの振興発展に寄与した者及び優秀な成績をおさめた者を表彰するといった制度ですが、今回の3名の学生は旭川実業のチームで全国大会出場ということであります。

チームの一員としての活躍は認めるところであります。が、他の市町村の団体である